

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 ※1 1バンク運用のため1バンク設備容量を記載
 ※2 3バンク運用のため1バンク故障時を考慮し2バンク分の容量を記載
 ※3 4バンク運用のため1バンク故障時を考慮し3バンク分の容量を記載
 ※4 1バンク故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 基幹系ループ系統のため
 #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 #3 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

2020年3月13日 更新

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
HSS001	中能登	500	275	3	2138	1568	熱容量	0	0	可	250	※2
HSS002	中能登	275	154	3	1045	732	熱容量	79	0	可	250	※2※4
HSS003	新富山	275	154	4	1330	1045	熱容量	115	110	可	250	※3※4
HSS004	加賀	500	275	2	1900	1045	熱容量	725	725	不可 #1	-	※4
HSS005	加賀	275	154	3	1140	836	熱容量	434	434	可	250	※2※4
HSS006	東金津	275	77	2	380	190	熱容量	101	101	可	190	
HSS007	新福井	275	154	4	1235	941	熱容量	469	469	可	250	※3※4
HSS008	越前	500	275	2	1900	1045	熱容量	566	566	不可 #1	-	※4
HSS009	越前	275	77	2	380	209	熱容量	177	177	可	171	※4
HSS010	南条	275	154	2	760	380	熱容量	325	0	可	250	
HSS011	敦賀火力	275	77	2	380	209	熱容量	209	0	可	171	※4
HSS012	黒部	154	66	2	285	157	熱容量	80	5	可	128	※4
HSS013	江口	154	66	3	428	238	熱容量	221	5	可	190	※2
HSS014	東魚津	154	66	1	143	143	熱容量	142	5	不可 #2	-	※1
HSS015	舟橋	154	66	2	380	209	熱容量	156	5	可	171	※4
HSS016	新中地山	154	66	1	53	53	熱容量	1	1	不可 #2	-	※1
HSS017	和田一	11	3.3	1	1	1	熱容量	1	1	不可 #2	-	※1
HSS018	折立	3.3	3.3	2	1	1	熱容量	1	1	不可 #2	-	
HSS019	富山	154	66	2	380	209	熱容量	125	73	可	171	※4
HSS020	富南	154	66	3	523	333	熱容量	332	102	可	190	※2
HSS021	北笹津	154	66	2	285	157	熱容量	6	6	可	128	※4
HSS022	東町	11	6.9	2	36	18	熱容量	0	0	不可 #2	-	
HSS023	牧	154	6.6	1	10	10	熱容量	0	0	不可 #2	-	※1
HSS024	塚原	154	66	3	523	333	熱容量	332	110	可	190	※2
HSS025	南福岡	154	66	4	665	475	熱容量	422	110	可	190	※3
HSS026	伏木	154	66	2	475	314	熱容量	313	0	可	161	※4
HSS027	新能登	154	66	4	570	418	熱容量	160	0	可	152	※3※4
HSS028	鳳至	154	66	2	285	157	熱容量	0	0	可	73	※4
HSS029	北金沢	154	77	4	570	418	熱容量	418	110	可	152	※3※4
HSS030	御所	154	77	2	380	209	熱容量	202	202	可	171	※4
HSS031	南金沢	154	77	4	760	570	熱容量	528	434	可	190	※3
HSS032	新小松	154	77	3	475	314	熱容量	313	313	可	161	※2※4
HSS033	北庄	154	77	3	475	314	熱容量	154	154	可	161	※2※4
HSS034	松岡	154	77	2	380	190	熱容量	161	161	可	190	※4
HSS035	丹生	154	77	2	380	209	熱容量	209	0	可	171	※4
HSS036	新武生	154	77	3	380	190	熱容量	190	0	可	190	※2
HSS037	新敦賀	154	77	2	238	105	熱容量	104	0	可	133	※4
HSS038	和泉	154	6.6	2	19	10	熱容量	9	9	不可 #3	-	
HSS039	栃尾	154	66	1	11	11	熱容量	0	0	不可 #2	-	※1